

議会だより

2016

No.111

# くらて

3月定例会号

剣第一保育所 入所進級式

おもな  
内容

P2

まちの新年度予算の使いみち

P5

旧中学校校舎を利用、集客・交流人口増加を図る

P6

まちへの定住、移住を促進

P8

知りたいこと望むこと～5人が一般質問～

# まちの 新年度予算の

# 使いみちはこうなります

## 平成 28 年度一般会計当初予算

■前年度比1億 5,457 万円 (2.2%) 増

3 月  
定例会

平成 28 年 10 月より

中学三年生までの  
医療費を無料化



▼賛成 9 ・ 反対 2 で可決

まちの平成 28 年度一般会計歳出予算（使うお金）は、子育て世代の保護者の経済的支援として、平成 28 年 10 月より中学三年生までの医療費を無料化とする予算が計上されています。

また、橋梁の長寿命化を図るため補修・点検工事等、農業基盤整備促進事業として農地の暗渠排水事業等の予算が計上されています。

これに対し、歳入予算（入ってくるお金）は、地方交付税をはじめ、国、県からの支出金や町債（町の借金）などの依存財源が大きく占めた予算となっています。

この結果、一般会計の当初予算総額は 70 億 5 187 万円になっています。

### 主な質疑

**問** 新年度予算も、5 億 3800 万円ほどの基金を繰り入れているが、財政健全化について今後の方針は。

### 政策推進課長

繰入金金の増額要因は、くすり病院への繰出金をこれまで総額の二分の一を当初予算に計上していたが、全体の総計主義にのっとりこれを見直し当初予算から計上しました。

### 町長

財政的に厳しい状況にありますが、子育て支援をやっていくことで決定しました。

行政は利益を生みませんが、町で仕事をされている皆様方の後押しをしなければならぬという政策は、重要な課題であると考えますし、行政の仕事だと思えます。

### 3 月定例会のあらまし

平成 28 年 3 月定例会が、3 月 2 日～17 日までの 16 日間の会期で開催されました。町長から提案の平成 28 年度各会計の当初予

算 9 件や平成 27 年度一般会計等補正予算 6 件、条例の制定・改正・廃止など 16 件、計画策定 2 件、その他 4 件を審議し原案のとおり可決・認定・承認して閉会しました。

※質疑の内容、答弁は紙面の都合上、要約しています。  
会議録は、鞍手町ホームページや議会事務局で閲覧できます。  
尚、会議録の調製により、閲覧が遅れる場合がありますので、ご了承ください。



## 反対討論

新年度の政府予算案は、消費税増税を前提に社会保障の改善、大企業減税、軍事費増など、きわめて反国民的な予算です。

平成28年度鞍手町一般会計予算は、基本的には政府予算に追従する予算となっています。そういった中、子どもの医療費無料化を中学校卒業まで拡充する予算が含まれていることは、切実な町民要求の一つが実現することであり、大歓迎いたします。しかしながら、高すぎる国保税やゴミ袋料金の引き下げ、保育料の負担軽減、同和関係予算にはメスが入っておらず、税の公平性も保たれていません。こういった問題点の解決策を示し、国保税やゴミ袋料金の値下げ、さらなる子育て支援など、町民の暮らしと営業を応援する予算に組み換えていくことを求めて反対討論を終わります。

宇田川 亮

## 賛成討論

平成28年度一般会計予算は、第5次総合計画に掲げられた将来像、「新たなまちで躍動するまちくらて」を実現すべく所要の予算措置がされています。

具体的には、新たな観光資源の創出による交流人口の増加や土地利用の方向性を示す都市計画事業に取り組んでいく予算、住民福祉の向上を推進する予算、農業、商工業の発展、活性化を図る予算を計上し、総合計画の実現に向けた予算編成の計上がされています。

行財政改革の取り組みとして、ムラ・ムダの排除につとめ、新地方公会計制度の導入や財政規律の確保、財政の健全化に努めようとしている姿勢が伺えると判断し、賛成討論といたします。

田中 二三輝

## ■特別・事業会計別当初予算

会計名		平成28年度	平成27年度	対前年比	議決結果
特別会計	国民健康保険事業	26億4,612万円	25億3,015万円	104.6%	賛成9・反対2で可決
	後期高齢者医療	2億4,216万円	2億5,208万円	96.1%	全員賛成で可決
	住宅新築資金等	54万円	116万円	46.6%	賛成9・反対2で可決
	流域関連公共下水道事業	8億7,219万円	8億1,246万円	107.4%	全員賛成で可決
	かんがい施設維持管理運営費	5,073万円	7,245万円	70.0%	全員賛成で可決
	谷山池パイプライン水利施設維持管理運営費	1,102万円	1,096万円	100.5%	全員賛成で可決
	泉水団地改良住宅移設事業	廃止	1,148万円	-	全員賛成で可決
	地方独立行政法人くらて病院貸付金	2億5,745万円	3億2,492万円	79.2%	全員賛成で可決
水道事業会計	収益的収入	3億4,101万円	3億6,181万円	94.3%	全員賛成で可決
	収益的支出	3億5,052万円	3億7,398万円	93.7%	

※泉水団地改良住宅移設事業特別会計は、移設に伴う工事が完了したことに伴い、特別会計を廃止し条例改正が可決。

## 国保会計の財政

### 赤字解消は

■平成28年度国民健康保険事業特別会計予算

▼賛成9・反対2で可決

### 主な質疑

**問** 保険税収入が前年度より下がっている理由は。

### 保険健康課長

保険基盤安定の拡充による保険税軽減判定所得が見直されたことにより、5割軽減、2割軽減の世帯数及び被保険者数が増加したことによりその増加分は公費で補助されることとなりますので、保険税収入が減額となります。

**問** 国保会計の財政赤字が約1億4500万円ほどあり、一般会計より法定外繰入をして

財政赤字を段階的に解消しなければいけないと考えるがいつまでに解消するのか。

### 町長

各市町村、この問題に向けて考えていますが、地方自治体だけの解消が必ずかしく国にかけあつて解消していかなければと考えています。

※「法定外繰入」とは、「法定外繰入」は、自治体独自の繰り入れがあり、主に保険税の負担を和らげ、決算の赤字を埋め、国の基準を超える検診などに充てられるものですが、一般会計の財政は厳しくなります。

# 旧鞍手町立南中学校校舎を利用した 集客・交流人口の増加を図る事業を計上

平成27年度一般会計補正予算 1億1,835万円を追加

## ▼全員賛成で可決

本補正予算は、旧鞍手町立南中学校の校舎を活用した「学校まるごとアニメ事業」をさらに加速させるために、アニメ同人誌の図書室等整備費を計上して、集客・交流人口の増加を図り、まちに賑わいをもたらすための事業費を追加しています。

また新たな移住・定住者呼び込みのための地域活性化・移住定住促進事業にかかる費用を計上していますが、この2つの事業を含む9つの事業が平成28年度予算へ繰り越すことになっています。

またこれまでに実施した事業の確定等により国・県支出金、町債及び財政調整基金への繰入金等を調整した結果、1億1,835万3千円を追加し、予算総額は73億9,952万5千円となっています。

## 主な質疑

**問** 総務費の財産管理費（加速化）の委託料と工事費の中身は。

総務課長 工事費の内容は、旧南中学校の校舎を利用した事業に関連して、校舎内の旧多目的室の畳の場所を外国人観光客が和の文化を体験できる場所に、旧図書室をプロの漫画家を目指す仕事に携わっている人が書いた同人誌と呼ばれる作品を集めた図書室とし、旧コンピュータルームは、今ブームになっているミニ四駆の常設レーンを設置して競技場所に、保健室はスタジオ撮影に訪れた人の更衣室として整備するように考えています。

### 総務課長

設計監理委託料は、少ない財源で整備していくために、建築デザイン等に係る経費を含めて計上しています。

設計監理委託料は、少ない財源で整備していくために、建築デザイン等に係る経費を含めて計上しています。

## 問

商工振興費の加速化事業、学校まるごとサブカル事業委託料と備品購入費の内容は。

### 地域振興課長

学校まるごとサブカル事業は、国に申請をしていますが加速化交付金を活用して、現在おこなっている「学校まるごとアニメ事業」を拡大し、交流人口の増加やにぎわいの創出を図ろうとする事業です。

今回、外国人観光客の誘致を図っていくための委託料を計上しています。

内容は、くらて学園がアニメの聖地だということを外国人が理解できるように翻訳するという作業。また、国内の旅行会社と提携し、くらて学園の



▶アニメコスプレ撮影風景（くらて学園サイトより）

取り組みを海外のイベントで売り込むための宣伝事業。さらに、コスプレ文化が盛んな国から人を招き、体験をしてもらうことや本町の観光資源等の良さを国内、国外で情報発信してもらう事業等の委託料を計上しています。

備品購入費等の内訳

は、作者の了解を得た上で来訪者が読めるように約2千点以上の同人誌の購入費です。

またフィギュア等の製作に係る備品や3Dスキャナで全身の形がスキャンニングできる機械、ミニ四駆の整備に係る備品を購入するように予定しています。

### ※サブカル事業とは

サブカルチャー事業の略で若者文化など若い人による新しい文化事業のこと。

### ※コスプレとは

コスチュームプレイヤーの略で漫画・アニメやゲーム等の登場人物の衣装・ヘアスタイルなどをまねて変装・変身すること。

### ※スキャンニングとは

スキャナを用いて写真や文書などの原稿を読み取り、デジタルの画像に変換すること。

# 人口増加を図るため

## まちへの定住を促進

### 主な質疑

が、当然それだけでは不足だと思えます。

**問** 定住促進事業奨励金が減額になって

いるが、当初の見込み件数と最終申込件数はいくらか。

### 地域振興課長

当初見込世帯

数は178世帯の1075万8千円を見込んでいましたが、実績は144世帯の857万2千円となりましたので、218万6千円減額しています。

**問** 定住促進を図るためにPR方法を今後考えるべきでは。

### 地域振興課長

PRの方法は

ポスターや町のホームページ等で紹介しています



家を建てるということになればハウスメーカーや、不動産業者に相談をします。その方面にもPRをして、少しでも町内で家を建ててもらおうように情報発信をしていきたいと考えています。

▶町内に住宅を取得して定住する場合、一定の要件を満たす人に定住促進奨励金を交付しています。(詳しくは、地域振興課へ)

### 主な質疑

**問** 移住定住促進事業や体験プログラム

の内容は。

### 政策推進課長

移住定住促進

事業は、国の補正予算に伴う加速化交付金を活用して、平成28年度事業で計上するところを、前倒しして平成27年度で計上しています。内容は、昨年10月から県と一緒にあこないました\*トライアルワーキングステイで、鞍手町にお試

## 住みやすさや地域の魅力を情報発信



▶地域の魅力を情報発信

し居住をされていた方が、本日から町に移住されます。

この実績を基に、この方と、これまで受け入れていただいた地区の方とで新たに情報発信をしていこうとする事業です。

それと併せて、この事業費の中にはシタイプ\*モーションの費用のほか、体験プログラムとして、体験型のお見合い活動をしていただき、いろいろな出会いや、町の魅力についてのPRなどを情報発信していく事業です。

\*「トライアルワーキングステイ」とは

\*「シタイププロモーション」とは

福岡県は、首都圏をはじめとする県外からの移住希望者に、福岡県内の市町村で一定期間お試し居住をしながら仕事を体験してもらい、福岡県の住み良さや地域の魅力を「福岡県移住・定住ポータルサイト」にブログで情報発信してもらう事業です。

人口減少時代に入った日本において、全国の自治体は生き残りをかけてさまざまな政策を行っています。

その中でも、観光客増加・定住人口獲得・企業誘致等を目的として、地域のイメージを高め、知名度を向上させる活動です。

### 陳情

軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情

#### ●陳情者

大阪府東大阪市六万寺町3の12の33  
軽度外傷性脳損傷仲間の会  
代表 藤本 久美子

国の関係機関へ意見書を提出しました。

(全員賛成で採択)

# ■その他の議案

## ▼全員賛成で承認

○専決処分承認（税条例の一部を改正する条例等の一部を改正する条例）

## ▼全員賛成で可決

○第5次鞍手町総合計画基本構想

○過疎地域自立促進計画の策定

○行政不服審査会条例

○石油貯蔵施設立地対策等交付金基金条例

○行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

○附属機関設置条例の一部を改正する条例

○職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

○一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例

○議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例

○特別会計条例の一部を改正する条例

○乳幼児等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

○重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

○ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

○家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

○放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

○公民館設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例

○泉水団地改良住宅移設事業引当基金条例を廃止する条例

○平成27年度国民健康保険事業特別会計補正予算

○平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算

○平成27年度流域関連公共下水道事業特別会計補正予算

○平成27年度泉水団地改良住宅移設事業特別会計補正予算

○平成27年度水道事業会計補正予算

○宮若市外二町じん芥処理施設組合規約の変更

○連携中枢都市圏北九州都市圏域の形成に係る北九州市との連携協約の締結に関する協議

○工場等設置奨励に関する条例に基づき平成26年度及び平成27年度固定資産税の課税免除の変更

○町道路線の変更

▼全員賛成で認定

# ■選挙管理委員会委員および同補充員を選任

選挙管理委員会および同補充員の任期が3月31日で満了するので、選挙（指名推薦）を行い、次の方々を選任しました。

※任期（平成28年4月1日～平成32年3月31日）

(委員)

野中 照彦氏  
(木月)

香月 勇夫氏  
(木月)

(補充員)

樫山 たず子氏  
(小牧)

古野 明裕氏  
(小牧)



中西 憲治氏  
(中山)



野上 忠良氏  
(中山)



友廣 任雅氏  
(新延)



白石 實枝氏  
(新北)

# 行政報告

●平成28年1月の寒波被害について

平成28年1月23日から25日にかけて、記録的な寒波により町内の水道管が凍結して破裂や破損が約250件発生しました。

水道業者に緊急対応を要請し、水道管の早

期復旧に努め、給水制限や断水を回避できました。また漏水分の水道料金は全額減免し、農作物被害や人的被害はないと町長から報告がありました。



# 知りたいたいことと望むこと

5人が  
一般質問

1. たけうち りいち 竹内 利一 議員・・・・・・・・・・・・・9
  - ・ふるさと納税について
  - ・すまいるバス・もやいたクシー等について
  - ・鞍手インターチェンジ周辺開発について
2. すどう しんいちろう 須藤 信一郎 議員・・・・・・・・・・・・・10
  - ・西川たぶ木橋のきばしについて
3. あじさか しょうじ 鱒坂 省治 議員・・・・・・・・・・・・・11
  - ・子どもの貧困対策について
  - ・ふるさと納税の今後の考えは
4. うたがわ あきら 宇田川 亮 議員・・・・・・・・・・・・・12
  - ・ゴミ袋料金の引き下げについて
  - ・国民健康保険事業の広域化について
5. おかざき くにひろ 岡崎 邦博 議員・・・・・・・・・・・・・13
  - ・公共下水道事業の現状と今後について
  - ・まちづくりについて



一般質問とは、町長から提出された議案以外に、行政に対する疑問点について質問することです。一般質問の内容、答弁は質問者自身が要約し、広報委員会が校正したものです。  
 質問の全文は、鞍手町ホームページや議会事務局で会議録を閲覧できます。※尚、会議録の調製により、閲覧が遅れる場合がありますので、ご了承下さい。



**問** ふるさと納税を増やす検討は？

町長

「納税手続きを簡素化するように考えています」

**問** ふるさと納税の現状と今後は。

**政策推進課長**

本町の現状は、平成28年2月末現在でふるさと納税は55件、額は128万2千円となっています。

**町長**

いろんなアイデアでインターネットを利用し、クレジットで納税ができるシステムを28年度から導入を考えています。

**問** 広報やホームページ等で多くの町民

の皆さんから斬新なアイデア、ご意見を募り、我が鞍手町の未来を作っていくためにはいけないと考えますが。



竹内 利一 議員

**地域振興課長**

一般の利用者や中学生も利用していること

もあり、利用状況や利用者の意見・要望を踏まえ素案を作成し、学識経験者や住民代表、交通事業者、道路管理者、警察等々で組織している地域公共交通会議で協議し、決定をしています。

**教育課長**

スクールバス化は基本的に「もやいたクシー」で通学していた長谷線及び上木月線に対応するもので、現在のところは他の路線の生徒の通学等には利用することは考えていません。スクールバスの要望・苦情等は、教育課で対応いたします。



▶特産品として販売「鞍手ぶどう」

すまいるバス・もやいたクシー等の運行

**問** 今後の運行について検討は。

**鞍手インターチェンジ周辺開発**

流関係事業者等と進出について調整を行っています。

**問**

インターチェンジ周辺開発の進捗状況は。

**地域振興課長**

約3万8200坪

については、地権者との土地の売買契約が完了していますが、現在事業主体である合同会社鞍手中山開発が中心となり、物

**町長**

インターチェンジ周辺開発については、新幹線の筑豊駅、これも不可能ではないと思っています。



▶鞍手インターチェンジ周辺開発予定地

問

のきばし  
西川たぶ木橋の  
架け替え工事の進捗状況は？

ふくおかけんどせいびじむしょ  
町長 「福岡県土整備事務所と  
協議したいと思います」



須藤 信一郎 議員

問

橋が従来の高さ  
に比べかなり高くな

**建設課長** たぶ木橋の工事は福岡県が行っていますので、県の方に確認しましたところ、供用開始時期については、周辺家屋の工事について了承が得られれば完成時期を平成28年9月頃に予定していると報告を受けています。

**問** たぶ木橋が架け替えられて、丁度一年になるが、通行止めの状態となっている。町道と繋がり完成するのは何時頃になるのか。



西川に架かる「たぶ木橋」

建設課長

高低差について、現在の道路に比べて60cmほど橋の方が高くなって、家の方が沈むような形になりますので、少しでも高さの差を小さくするよ

うに、取り付け道路の計画の見直しを現在行っていると県の方から報告を受けています。

**問** 現在では橋と町道が繋がっていないので何とも言えないが、この先現状のままで工事が行われた場合、大雨の時など、橋から家屋の玄関方向へ水が流れることになると思われる。住民の方からは橋の中央部は高くともよいが町道にか

かる部分は低くしてもらいたいとの要望も出されたようだが、聞いてもらえなかったとの事。この先工事を進める場合、県土整備事務所に十分留意していただくよう伝えていただきたいが。

町長

私もたぶ木橋の前の住民の方には、ご不便をお掛けして本当に申し訳ないと思っています。

県土整備事務所の所長とも話をさせていただきました。県も当初の計画から変更があったようで、所長の交代等もあり明確な回答が得られませんでしたので、しっかりとやってくださいと伝えておきました。

県土整備事務所と、再度協議を行いたいと思っています。



道路との高低差について見直し

# 問 子どもの貧困対策に ついての考えは？

## 町長 「幼児期における 教育の充実も図りたい」

**問** 子どもの貧困は虐待や不登校、非行などさまざまな問題に

率には、平成24年に16.3%で過去最悪となつています。

小中学校において就学援助を受ける必要保護者は236人となつています。

繋がるおそれがあります。子どもの将来に大きな影響を与えるから

高校生以下の子どもも約6人に1人、実に300万人を超える子どもが貧困状態にあると言われています。

**問** 現在の就学援助入学金準備金について、必要の額をカバーができていないのではないかと

必要ではないでしょうか。

また、近年では、児童扶養手当の受給者の増加、いわゆる一人親家庭が増加しており、その世帯に於ける高校生以下の人数は、現在358人上つています。

**問** 現在の就学援助入学金準備金について、必要の額をカバーができていないのではないかと

**町長** 日本における子どもの貧困

具体的な子どもの貧困率に関するデータは、今のところはありませんが、生活保護世帯に

認定については、近隣の市町と比較しても鞍手町は対象となる基準を幅広く設定して支援を行わせていただいているところで



議員 鮭坂 省治

一概には言えませんが、経済的なものを含め生活が厳しい状況にある子どもが増えていることには間違いがないのではないかと、そのように思っています。

現在のところ、支援費の金額の見直し等につきましては、財政的に厳しいところもありまして、今後とも社会情勢等を注視しながら、経済的理由によりまして児童生徒の就学が困難とならないよ

うに就学援助制度の趣旨に基づきまして、適切な運用に努めたいと思っております。



▶ 幼児期における教育の充実を

### ふるさと納税の 今後の考えは

信力というのは、非常に影響力があると感じています。

**問** インターネットを活用できない自治体は、ふるさと納税の実績額が少ない状況です。

ホームページの入り方、導入の仕方とか、そしてホームページをもつと分かりやすくすると

今後インターネットをもっと活用する検討は。

か、そついったいいるかな部分について、手を加えていきたいと思つてい

**町長** やはりインターネットの発

展は、インターネットの発

問

高すぎるごみ袋料金の引き下げを

町長「引き下げの話は出ています」



宇田川 亮 議員

問 じん芥組合長、副組合長のゴミ袋料金が高すぎるという認識は。

町長 宮若市、小竹町の両首長とも、雑談の中では高いという認識は持たれていると思います。

問 ゴミ袋料金の引き下げについて、これまで経過と、町長がどうイニシアチブ（主導権）を発揮してきたのか。

町長 正副組合長会議の中で、引き下げの話はしました



▶くらじクリーンセンター（宮若市）



▶搬入車



▶固形燃料（RDF）



▶固形燃料搬出

が、足並みを揃えてもらわないと困るということを言われました。平成29年で起債が終わりますので、その時に少しでも引き下げようかという話は出ています。

問 ゴミ減量化の具体策と目標まで決めて、どうすればゴミ袋を

引き下げられるのか、本格的な議論をじん芥組合の中でも是非開始していただきたいが。

町長 抜本的に掘り下げて議論

し、きちんとした取り組みをやっていかねばいけないと考えています。

宮若市外二町じん芥処理施設組合とは  
宮若市、鞍手町、小竹町で運営する「ゴミ処理施設組合」で、各地域より出される可燃性一般廃棄物及び可燃性粗大ごみを「くらじクリーンセンター」で固形燃料化（RDF）し、大牟田リサイクル発電（株）の発電所の熱源として有効利用し、エネルギーとして再生しています。

国保会計の健全化は

問 県は、5年前に市町村国保広域化支援方針を決定し、一般会計からの法定外繰入と繰上充用の解消、収納率の引き上げ等を掲げて市町村を指導していると聞きました。具体的にどんな指導があっているのか。

保険健康課長

県からの具体的な指導はあっていません。しかし、広域化に向けて昨年、共同運営準備会を立ち上げ、これからどうしていくのか、市町村と県とで話し合っていくようになっていきます。

問 広域化に向けて、国保会計の健全化を、どうやって図っていくのか。

町長

約1億4500万円ある国保会計の累積赤字解消は、国保税の値上げはせず、国保税の収納率向上や医療費の抑制を図るとともに、一般会計からの法定外繰り入れで健全化に努めていきます。



▶国保会計の健全化を



岡崎 邦博 議員

**問** 今後人口が減少する中で、下水道計画は？

**町長** 「人口は、もっと増えると思うが、無駄な投資はいかなものかと考えています」

**問** 下水道事業の全体計画面積に対する進捗率は。また現在までの総事業費は。

**上下水道課長** 平成26年度末の面

整備比率は26・8%。総事業費は97億円です。

いのに97億円かかっているのに、全体では400億円近い事業費になるが、全体の計画人口は何か。

今後人口が減少し、2040年には計画人口を下回り、ある時点から過剰な資本になっていくが、今後の下水道計画をどうするのか。

**町長** 10年先、20年先の将来のことは神様でないかわからないと思うので、1年ごとに予測を立て努力をします。逆に人口が増えるのではないかと思っているが、無駄な投資はいかなものかと考えています。

**問** 今後、費用対効果悪い地域に下水道を布設

することに、下水道全体の高コスト化につながると思うが。

**上下水道課長** 地形的条件や住宅

の集積具合で、費用対効果が低くなることも予想され、小型合併浄化槽の設置補助も活用しながら整備します。

**まちづくりについて**

**問** 多くの予算を使って観光まちづくりを進めようとしているが基本理念としてどういうまちを考えているのか。

**町長** 観光をキーワードに、町

が進めるから学園構想などで交流人口を増やし、町の魅力を知ってもらい、定住を促進していることを考えています。

**問** まち・ひと・しごと創生総合戦略は、

地域特性を把握した効果的な政策立案を求めているが、学校まるごとアニメ事業は鞍手のどういう特性を把握した事業か。

**問** 事業はまだ4分の1しか進んでいな

**問** 現在の人口は約1万6000人だが、

**上下水道課長** 1万3800人で



▶整備中の下水道工事

**地域振興課長** 特産品の販売戦略

海外戦略事業、学校まるごとアニメ事業などで26年度と27年度現在で、県や国の交付金、補助金等を活用し、総額6671万円です。

**町長** 観光資源のな

い鞍手町では何らかの形で人を呼び込めば、商売などの波及効果を及ぼすと考えており、くらで学園は最終的には世界がターゲットだと思っています。

## 表紙の紹介 剣第一保育所 入所進級式



剣第一保育所では、4月1日に新しいお友達を迎え、入所進級式が行われました。

みんな大きくなったクラスに最初はドキドキしていましたが、すぐにいつものみんなになりました。

つるぎ1っこの合言葉 「きょうも元気」「もっともっと元気」  
明日から楽しいことさがしの始まりです。

剣第一保育所長

### 議会議を傍聴しませんか (次回は、6月議会議です。)

議会議はだれでも一般質問・議案質疑を傍聴できます。受付は、当日に議会議事務局でおこないます。また一般質問を傍聴する方の希望に応じ、手話通訳者を派遣しています(無料)。これには事前予約が必要です。

■問い合わせ 議会議事務局 ☎42局 2111番 (内線 331)

### 編集後記

今年の気候は、例年になく温度差が激しく風邪をひかれた方も多かったのではないかと思います。

3月議会議では、新年度予算について真剣な議論がなされました。

また一般質問では5名の議員が質問を行い、身近なことから、長期の展望に立った問題まで、さまざまなことが取り上げられています。

いずれも町民の生活に根ざした問題です。

ご一読いただければと思います。

(須藤 信一郎)

#### 発行責任者

議会議議長 星 正彦

#### 編集スタッフ

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	委員長
須藤 敏夫	須藤 信一郎	熊井 照明	鰐坂 省治	竹内 利一	須山 由紀生	須山 由紀生